

特殊詐欺発生状況

令和6年6月の状況

6月中	件数	金額	1～6月	件数	金額
R6年	11	約2,450万円	R6年	78	約1億6,890万円
R5年	20	約3,650万円	R5年	89	約2億1,260万円
増減	-9	約-1,210万円	増減	-11	約-4,370万円

6月中の主な手口

サポート詐欺を認知!

6月は、パソコン画面に「ウイルスに感染しています。」などのメッセージが表示され、**ウイルス除去名目**として**電子マネー**で支払いを要求される**サポート詐欺**を認知しました。

サポート詐欺の手口一例

パソコンを操作していると、画面に「ウイルスに感染しています。」などのメッセージと「サポートセンター」なる名称及び電話番号が表示され、「ウイルスに感染しています。」などの警告音声流れる。

場合によっては、「トロイの木馬」というウイルスに感染していることが表示されたり、ブザーなどの警告音が流れることもある。

表示された電話番号に電話をかけると、電話に出た犯人から「あなたのパソコンがウイルスに感染しています。」などと言われ、パソコンの復旧作業を行う話をされる。

このとき、相手からパソコン操作を指示される場合があり、相手の指示に従うと、自分のパソコンが相手から遠隔操作される場合もある。

ウイルス除去費用としてコンビニエンスストアなどで電子マネーカードを購入するように言われ、電子マネーで金銭を要求される。

電子マネーを購入する際の注意事項として、「店員さんから電子マネーの購入理由を聞かれた場合は、〇〇のために使うと言って下さい。」などと具体的な指示を受けることもあり、繰り返し電子マネーを要求される。

被害

※ これは詐欺の手口です。表示された番号には絶対に電話せず、警察などに相談して下さい!

トピックス

特殊詐欺被害の未然防止

6月中、JA岡山中央支店では、ATMの操作方法を尋ねてきた来店客に職員がATMの利用目的を確認したところ、「SMSで高額当選メールが届き、手続きをするために来店した。」などと話したことから詐欺と見抜き、警察に通報するなどして架空料金請求詐欺被害を未然に防止しました。

また、セブンイレブン倉敷有城店、ローソン小田中西店、ファミリーマート倉敷笹沖店等では、電子マネーカードを購入しようとした来店客に店員が購入理由を聞いて詐欺と見抜き、警察に通報するなどして架空料金請求詐欺被害を未然に防止しました。

このほかにも、金融機関やコンビニエンスストアなどで合計16件の特殊詐欺被害を未然に防止することができました。

ココに「技あり」!

JA岡山中央支店では、ATMの操作方法を尋ねてきた来店客に対し、操作方法を教える前に利用目的をしっかりと確認しているからこそ、未然防止ができたもので、水際対策の好事例と言えます。また、各コンビニエンスストアでは、各店舗責任者が電子マネーカード購入者に購入理由を確認する指導ができていたからこそ、架空料金請求詐欺被害を未然に防止することができたもので、いずれも水際対策の好事例です。